

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-119665

(P2019-119665A)

(43) 公開日 令和1年7月22日(2019.7.22)

|               |              |     |                  |             |
|---------------|--------------|-----|------------------|-------------|
| (51) Int. Cl. |              | F I |                  | テーマコード (参考) |
| <b>CO1B</b>   | <b>17/12</b> |     | <b>(2006.01)</b> | CO1B 17/12  |
| <b>CO1B</b>   | <b>17/10</b> |     | <b>(2006.01)</b> | CO1B 17/10  |

審査請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 17 頁)

|           |                          |          |  |
|-----------|--------------------------|----------|--|
| (21) 出願番号 | 特願2018-2723 (P2018-2723) | (71) 出願人 | 598015084<br>学校法人福岡大学<br>福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号   |
| (22) 出願日  | 平成30年1月11日(2018.1.11)    | (71) 出願人 | 598047063<br>日本乾溜工業株式会社<br>福岡県福岡市東区馬出1丁目11番11号 |
|           |                          | (74) 代理人 | 100099508<br>弁理士 加藤 久                          |
|           |                          | (74) 代理人 | 100182567<br>弁理士 遠坂 啓太                         |
|           |                          | (74) 代理人 | 100197642<br>弁理士 南瀬 透                          |
|           |                          | (72) 発明者 | 八尾 滋<br>福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号<br>学校法人福岡大学内       |

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 硫黄コーティング組成物およびその製造方法、ならびにゴム組成物

(57) 【要約】

## 【課題】

ゴム組成物に用いられる硫黄は熱安定性が不足する場合、ブルーミング等の問題が生じる場合がある。本発明は、このようなゴム組成物の加硫に用いてもブルーミングの発生を抑制できる硫黄の熱安定性を向上させた硫黄コーティング組成物およびその製造方法を提供する。

## 【解決手段】

硫黄と機能性ブロック共重合体とを含有する硫黄含有液を調整する工程と、前記硫黄含有液の溶媒を揮発させる工程とを有し、前記硫黄の少なくとも一部を前記機能性ブロック共重合体で被覆した硫黄コーティング組成物の製造方法。硫黄の少なくとも一部を機能性ブロック共重合体で被覆した硫黄コーティング組成物。

【選択図】 図3

